

ボクには、
パパとママと、
水曜日のパパがいます。

世界にはどんな家族の
かたちがあるのだろうか？

馬場先生、
教えてください。

パパアニューギニアの子どもには、
パパと呼べる複数の大人がいます。

ここは実の父親だけでなく、
特定の男性親族がパパになれる
社会なのです。たとえば、

水曜日にふらっと遊びにきた

子どもをそのまま泊めてあげる

のはよくあること。複数のパパが

共同で学費を援助したりもします。

またスウェーデンでは、母親の再婚相手を

“ボーナスパパ”と呼び、別れた実の父親も

ボーナスパパも積極的に子育てに参加しています。

子どもの成長を見守ってくれる人がたくさんいる

という意味では、どちらの社会も同じです。

文化が変われば、家族のあり方も変わる。

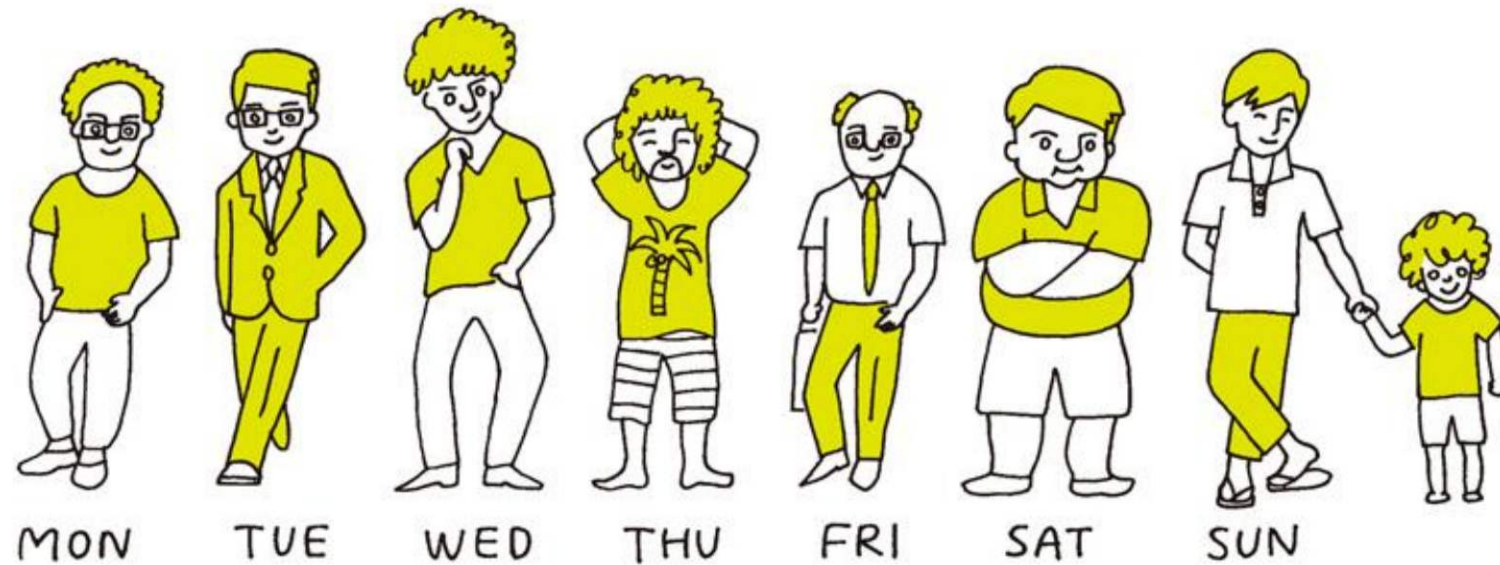
これが正解というものはありませんし、

人間が幸せに生きていくために、家族のかたちは

人それぞれであっていいでしょう。

世界の多様性は、私たちにそのことを

教えてくれています。



現代社会学科
准教授 馬場 淳



和光3分大学

現代人間学部

表現学部

経済経営学部

小田急線鶴川駅から

徒歩約15分

<http://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学